



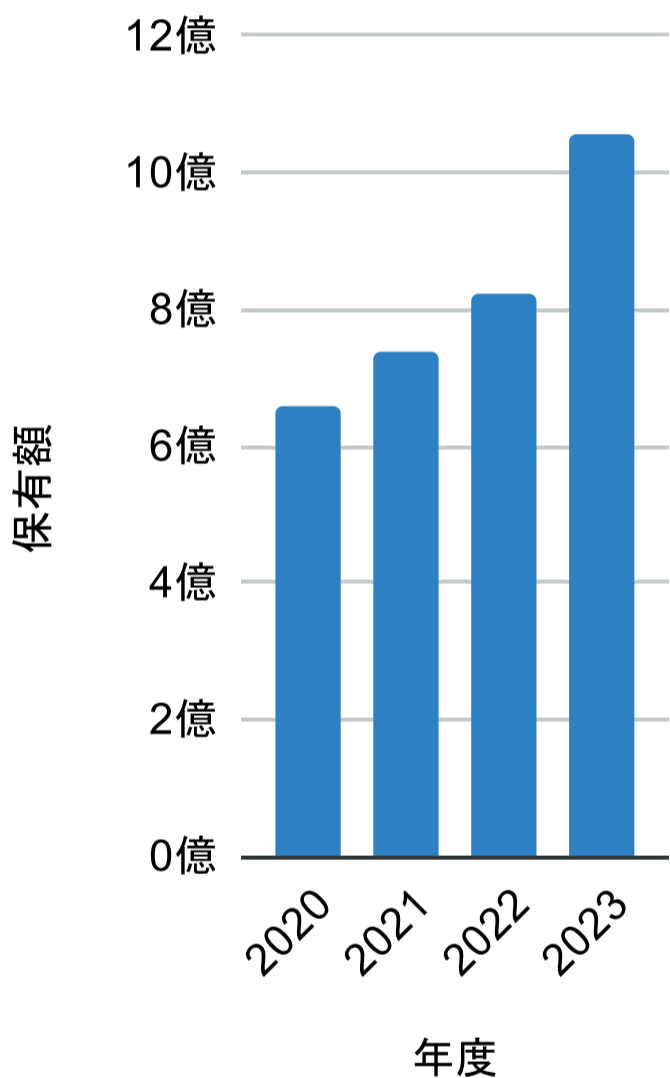
はじめての介護保険料のひきさげ

3年間で 5億9千万円のとりにくずし

基準額
月額 100円
年額 1200円

さらなる負担の軽減を!

介護給付費準備基金(積立金)



薩摩川内市は、今年4月から介護保険料基準額を月額100円下げました。介護保険制度が始まったのが2000年。第1期(2000年)から第8期(2023年)までの間に介護保険料は据え置きか値上がりしてきました。値下げは初めてです。要因として2020年度から2023年度にかけて、

介護給付費準備基金が6億5881万9千円から10億5650万8千円へと約4億円積立額が膨らんだために、今後3年間で約5億9千万円をとりにくずして介護保険料の引き下げに使うことになりました。高すぎる介護保険料を引き下げ、という市民の政治を動かしました。

しかし、市町村合併当初(2006年)の薩摩川内市の介護保険料基準額は4500円と35%も値上げしています。物価高騰と後期高齢者医療保険の値上げなど負担が増える中で、わずかな値下げでは高齢者は納得しません。日本共産党の井上かつひろ市議は、「介護保険制度は、社会の高齢化が進むほど介護

サービスが増え、介護保険料が値上げされる仕組みになっている。国庫負担率を引き上げるなど国が責任を果たすことを求めたい。同時に、薩摩川内市として一般会計から介護保険特別会計へ繰り出すなどあらゆる方法で高齢者の負担を軽減すべき」と主張しています。

薩摩川内市は、2024年4月から介護保険の積立金(介護給付費準備基金)を3年間で5億9千万円とりにくずして、介護保険料基準額を月額100円、年間1200円値下げしました。介護保険制度が始まって以来の値下げ改定です。それでも重い負担の介護保険料。介護保険制度の制度設計そのものが問われています。

薩摩川内市の介護保険料基準額の推移

期	年度	保険料(月額)	保険料(年額)	月額値上げ幅
第3期	2006~2008	4500円	5万4千円	
第4期	2009~2011	4500円	5万4千円	
第5期	2012~2014	5800円	6万9600円	+1300円
第6期	2015~2017	6100円	7万3200円	+300円
第7期	2018~2020	6100円	7万3200円	
第8期	2021~2023	6200円	7万4400円	+100円
第9期	2024~2026	6100円	7万3200円	-100円

第9期(2024年~2026年度)の3年間の第1号被保険者(65歳以上)の支払う保険料総額67億4898万円に介護保険給付費準備基金(積立金)から約5億9千万円をとりにくずして介護保険料を引き下げました。

エプロンおばさんの 簡単クッキング (648)



豚肉と 三つ葉の卵とじ

材料 (2人分)
 豚肉 (しゃぶしゃぶ用) 100g、
 玉ねぎ ½ 個、糸三つ葉 1 束、卵 2
 個、A(だし ⅓カップ、しょうゆ大 2、
 砂糖、みりん各大 ½)
 つくり方

- ①豚肉は 1 ㎝長さに切る。玉ねぎは薄切りに、三つ葉はざく切りにする。卵はわりほぐす。
- ②フライパンに A を煮立て、玉ねぎと肉を入れてほぐしながら約 3 分煮る。
- ③①の卵を回し入れ、半熟状になったら三つ葉を散らして火を止め、ふたをして余熱で蒸らす。

個人の土地である道路?
 川内高校グラウンドの東側の住宅街を通る道路が老朽化してぼこぼこの状態になっていきます。相談者から「この道路は市道でも里道でもないので市は直してくれない」と言われました。市に問い合わせたところ「個人名義の土地なので市では修繕できません」と回答がありました。腑に落ちないまま相談者にはそのまま伝えました。



写真
個人の土地である「公衆道路」

薩摩川内市のホームページの「市民の声」を見ていると次の市民からの要望がありました。「出水市の広報 8 月号」で「里道、私道水路」の整備に対して助成する新制度ができたが、薩摩川内市でもできないか?との声に対して「同市へのヒアリングなど情報収集を行い、制度のメリット・デメリットを整理したうえで、検証してみたい」との回答でした。早く検証の結果を聞いてみたいものです。

こちらの相談所
 (No. 591)
 携帯 080-3996-0237
 (井上)
 なんでもご相談ください。



川内港で 9 条の会入来の堀切時子代表と対談しました。薩摩川内市長に特定利用港湾指定を拒否するよう申し入れをした直後です。



学校給食費無償化運動をいっしょにすすめた中学生の子どもを育てている白石正代さんと対談しました。



川内原発の見える場所から金曜行動に参加されている片平かずよさんと対談しました。



宮下団地で家賃減免を受けた村尾明さんと対談しました。

プロモーション動画ができました。
「市営住宅 家賃減免」「学校給食費無償化」
「川内港 特定利用港湾」「川内原発」
 日本共産党の井上かつひろ市議の議員活動を紹介するプロモーション動画が完成しました。字幕付きの見やすい動画です。写真右のQRコードをスマホで読み取ってご視聴ください。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (773)



日曜版を配達しながら「かつひろピラ」を入れているときのことだった。上川内の集合団地に入れ終わり、帰ろうとするときに熱心に読んでいた老夫婦に出会った。座り込んで読んでいたのは男性の方で、女性の方は杖を手に、上からのぞき込んで声をかけた。「日本共産党のかつひろです。今度の選挙はよろしくお願いいたします」。すると、振り向いた女性の方が私の右手を強く握りしめ、うなずかれた。その力強いこと。声もかけられたかも知れないが、私の壊れた機械には届かなかった。トランプや、高市総裁候補などは、富裕層の岩盤層に支えられている。それは金と権力だ。だが、かつひろ候補は、明日の生活を細々と生きているこうした方々に支えられているのだ。そう思うと、決して落としてはならない。改めてそう思った。かつひろ候補を落とすことは、こうした老夫婦の希望を断つことになる。その日のピラは城上までの広範囲に100枚だったが、100枚のうちの一枚に、明日への希望をつなぐ人がいると思えて、汗びっしょりだったが達成感があった。こうした動きはさざ波のようにあちこちであるかも知れない。今はさざ波でもやがては岩盤を突き崩す大きな波になる。私たちは諦めてはいけなない。もう一つのさざ波。出勤途中だった中年の方が、郵便受けのピラを手に、目を落としながら歩いて行かれたことも付け加えておこう。(児童クラブ支援員)